

平成 27 年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果

転出入の状況

政策企画課

2017/05/26

目次

1	5年前の常住地別人口	1
2	広島県及び尾道市における移動人口の概要	
	(1) 広島県内における市町間の転出入状況	2
	(2) 尾道市に係る県内・県外別転出入状況	3
3	尾道市に係る転出入状況	
	(1) 県内市町間の転出入状況	4
	(2) 県別の転出入状況	5
	(3) 備後圏域別の転出入状況	7
	(4) 3大都市圏別の転出入状況	7
4	尾道市に係る男女、年齢(5歳階級)別転出入状況	
	(1) 県内・県外別の転出入状況	8
	(2) 3大都市圏別の転出入状況	10

移動人口集計について

- 移動人口の男女・年齢等集計は、平成22年国勢調査時の常住地(5年前の常住地)と平成27年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について集計したものです。5歳未満の者については、出生後にふだん住んでいた場所を5年前の常住地とみなして集計しています。
- 5年間に複数カ所移動した場合は、集計には反映されません。
- この5年間で亡くなった人、国外に転出入した人がいるため、5年前に住んでいた都道府県、市町ごとの人口と平成22年調査の確定値とは一致しません。

詳細については、総務省ホームページをご覧ください。

利用上の注意

- 1 総数には不詳が含まれており、内訳の計と一致しない場合がある。
- 2 割合は、特に注記のない限り、分母となる総数から不詳を除いて算出している。
- 3 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある。
- 4 表中の「0.0」は単位未満の数を示している。
- 5 表中の「-」は、該当値なしを示している。

1 5年前の常住地別人口

尾道市の人口(常住者)の18.4%が5年間で住所を移動
 「尾道市内」の移動が10.2%、「県内他市町」からの転入が3.7%、「県外」からの転入が3.7%、
 「国外」からの転入が0.9%

平成27年国勢調査による尾道市人口(138,626人)を5年前に住んでいた場所(以下「5年前の常住地」という。)別にみると、5年前と同じ場所(以下「現住所」という。)に住んでいる人は111,450人(市人口の81.6%)となっています。

一方、現住所以外に住んでいた者(以下「移動人口」という。)は、25,144人(同18.4%)で、そのうち「尾道市内」に住んでいた人は13,884人(同10.2%)、「広島県内の他市町」に住んでいた人は4,990人(同3.7%)、「広島県外」に住んでいた人は5,060人(同3.7%)、「国外」に住んでいた人は1,210人(同0.9%)となっています。(図1、表1)

尾道市の移動人口の割合を県内他市町の平均と比べると、4.5ポイント低くなっており、尾道市の平成22年(19.1%)と比べると、0.7ポイントの低下となっています。(表1)

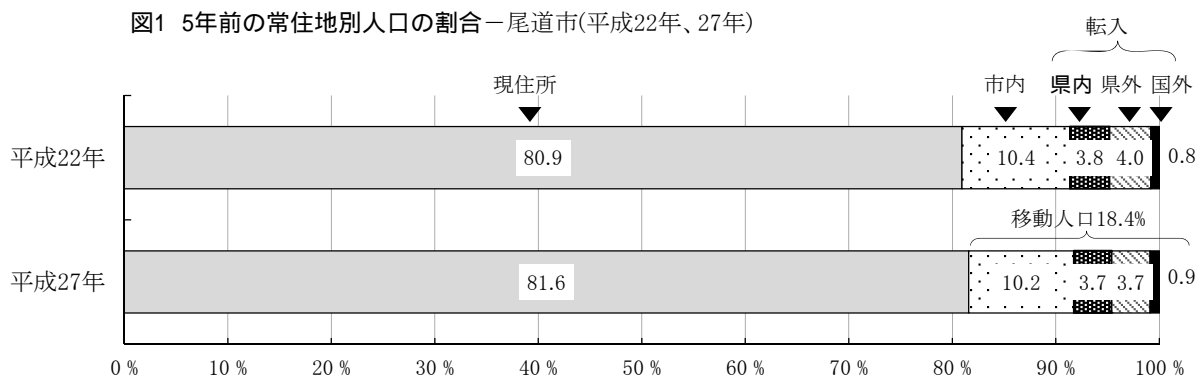


表1 5年前の常住地別人口の割合(別掲 転出)—尾道市〔平成22年、27年〕

5年前の常住地 又は現住地	実数(人)		増減数(人)	割合(%) 1)		
	平成22年	平成27年	平成22年 ~27年	平成22年	平成27年	広島県
常住者	145,202	138,626	△ 6,576	100.0	100.0	100.0
現住所	116,377	111,450	△ 4,927	80.9	81.6	77.1
現住所以外(移動人口)	27,400	25,144	△ 2,256	19.1	18.4	22.9
尾道市内	15,007	13,884	△ 1,123	10.4	10.2	-
転入	12,393	11,260	△ 1,133	8.6	8.2	5.7
県内他市町から	5,502	4,990	△ 512	3.8	3.7	-
他県から	5,722	5,060	△ 662	4.0	3.7	5.1
国外から	1,169	1,210	41	0.8	0.9	0.5
不詳	1,425	2,032	607	-	-	-
(別掲)						
転出	11,221	10,782	△ 439	7.9	7.9	-
県内他市町へ	5,919	5,954	35	4.2	4.4	-
他県へ	5,302	4,828	△ 474	3.7	3.5	5.1

1) 割合は分母から「不詳」を除いて算出。
 転出者の割合は、5年前の常住者(=現住所人口+尾道市内人口+転出者数)に占める割合。
 表章単位未満で四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある。

2 広島県及び尾道市における移動人口の概要

(1) 広島県内における市町間の転出入状況

尾道市は732人の転出超過で、県内順位は第19位
平成22年と比べて、転入超過から転出超過に転ずる

広島県内の各市町の移動人口状況は、5市町で転入超過、18市町で転出超過となっています。

尾道市では732人の転出超過で、県内順位第19位でした。平成22年は転入超過でしたが、平成27年は転出超過に転じました。(図2-1、表2-1-1、表2-1-2)

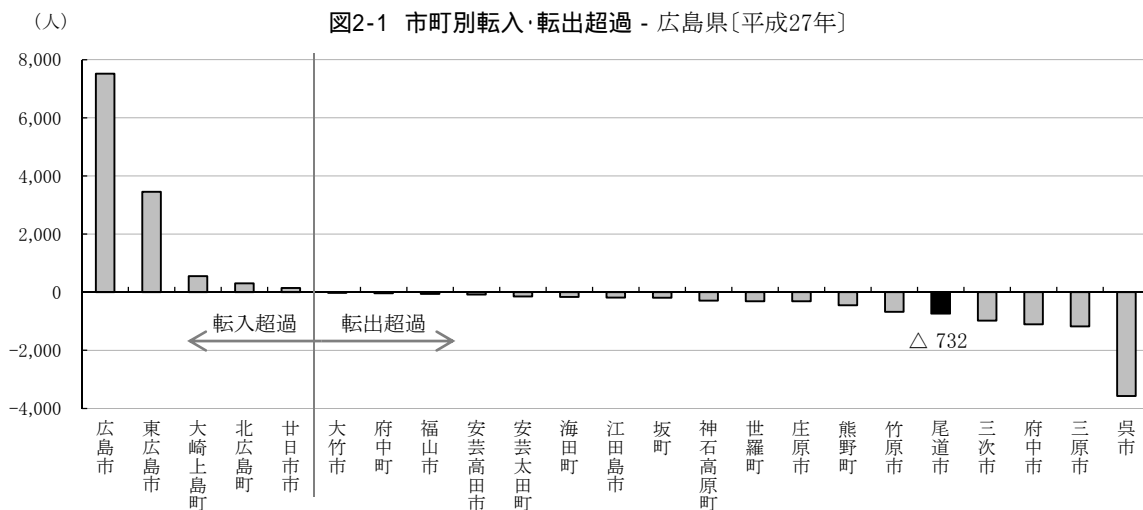


表2-1-1 市町別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数 - 広島県〔平成27年〕

市町	転入者数 (人)			転出者数 (人)	転入・転出超過数 ¹⁾ (人) (△は転出超過)
	県内他市町から	他県から	国外から		
広島市	35,964	71,593	3,503	100,032	7,525
呉市	7,657	8,361	1,232	19,590	△ 3,572
竹原市	1,184	845	34	2,702	△ 673
三原市	3,799	3,158	844	8,136	△ 1,179
尾道市	4,990	5,060	1,210	10,782	△ 732
福山市	11,262	18,566	2,664	29,887	△ 59
府中市	1,639	775	224	3,518	△ 1,104
三次市	2,699	1,342	145	5,020	△ 979
庄原市	1,692	1,056	121	3,058	△ 310
大竹市	949	2,096	82	3,067	△ 22
東広島市	11,529	13,502	1,917	21,572	3,459
廿日市市	6,908	4,270	379	11,032	146
安芸高田市	1,750	642	243	2,471	△ 79
江田島市	1,143	1,605	316	2,932	△ 184
府中町	4,478	2,267	159	6,779	△ 34
海田町	3,018	1,186	144	4,369	△ 165
熊野町	1,468	369	79	2,286	△ 449
坂町	1,134	327	19	1,654	△ 193
安芸太田町	428	109	13	682	△ 145
北広島町	1,334	623	252	1,649	308
大崎上島町	713	675	76	833	555
世羅町	856	311	89	1,476	△ 309
神石高原町	422	145	41	858	△ 291

1) 国外からの転入を除く。

表 2-1-2 転入者数、転出者数及び転入・転出超過数の推移－尾道市〔平成 22 年、平成 27 年〕

年次	転入者数 1) (人)	転出者数 (人)	転入・転出 超過数 1) (△は転出超過) (人)
平成 22 年	11,224	11,221	3
平成 27 年	10,050	10,782	△732

1) 国外からの転入を除く。

(2) 尾道市に係る県内・県外別転出入状況

尾道市は 732 人の転出超過

県内移動状況は 964 人の転出超過、県外は 232 人の転入超過

尾道市は、732 人の転出超過となっています。県外については 232 人の転入超過となっていますが、県内他市町間の移動状況については 964 人の転出超過となっています。平成 22 年と比べると、県外の転入超過数が減少、県内の転出超過数が増加しており、全体で転出超過数が拡大しています。(図 2-2-1、図 2-2-2、表 2-2)

図2-2-1 県内・県外別転入者数及び転出者数
－尾道市〔平成22年、27年〕

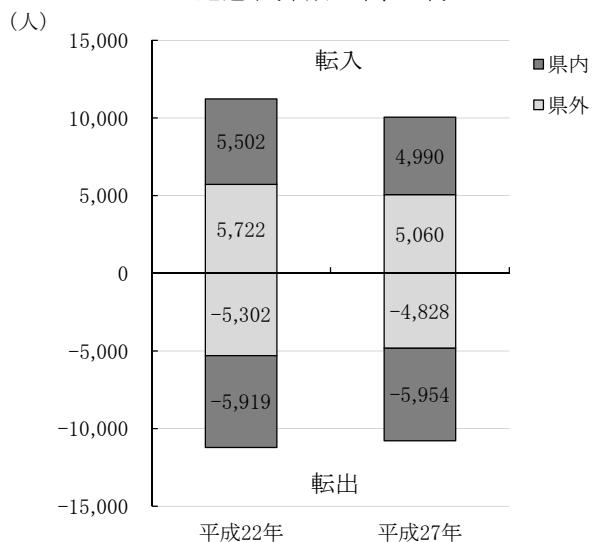


図2-2-2 県内・県外別転入・転出超過数
－尾道市〔平成22年、27年〕

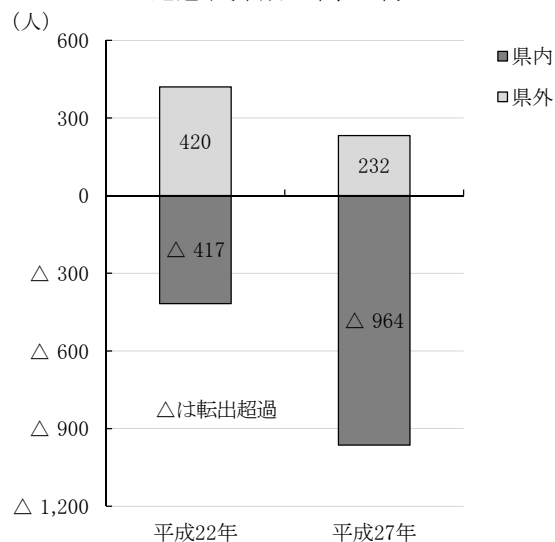


表 2-2 県内・県外別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数－尾道市〔平成 22 年、27 年〕

年次	転入者数(人)		転出者数(人)		転入・転出超過数(人) 1) (△は転出超過)		
	県内他市町 から	県外から	県内他市町 へ	県外へ	総数	県内他市町	県外
平成 22 年	5,502	5,722	5,919	5,302	3	△ 417	420
平成 27 年	4,990	5,060	5,954	4,828	△ 732	△ 964	232

1) 国外からの転入を除く。

3 尾道市に係る転出入状況

(1) 県内市町間の転出入状況

尾道市からの転出超過は 11 市町、転入超過も 11 市町
 全体でみると、尾道市から県内各市町へは 964 人の転出超過

尾道市に係る県内市町間転出入状況を見ると、現住地が尾道市で 5 年前の常住地が「県内各市町」となっている転入者数は 4,990 人で、福山市からの転入者が 2,147 人で最も多く、次いで広島市(1,033 人)、三原市(705 人)となっています。(図 3-1-1、表 3-1)

一方、5 年前の常住地が尾道市で、現住地が「県内各市町」となっている転出者数は 5,954 人で、福山市への転出が 2,770 人で最も多く、次いで広島市(1,328 人)、三原市(735 人)となっています。(図 3-1-1、表 3-1)

転入・転出超過数を県内市町別にみると、尾道市からの転出超過は福山市、広島市、東広島市など 11 市町、尾道市への転入超過は世羅町、江田島市、竹原市など 11 市町となっています。県内市町間では転出超過となっており、転出超過数は 964 人となっています。(図 3-1-2、表 3-1)

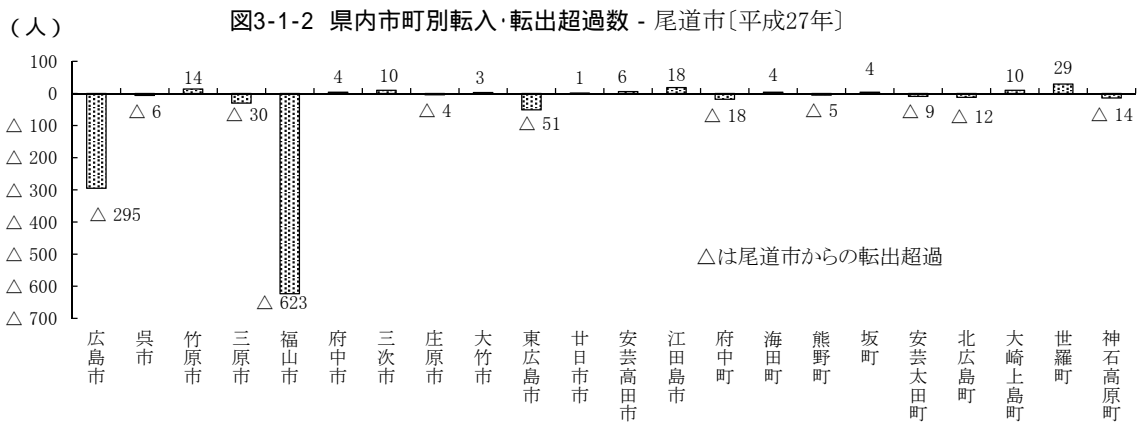
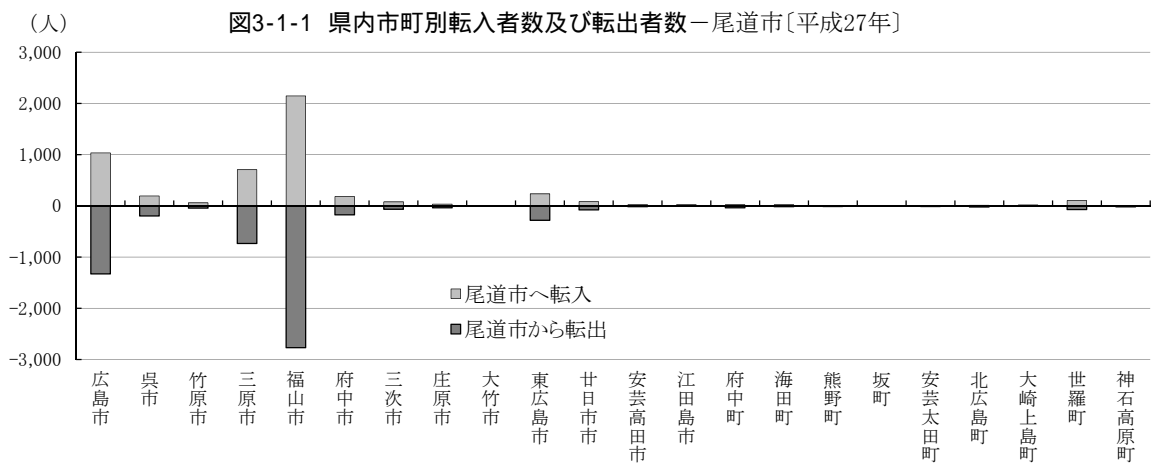


表 3-1 県内市町別転入者数及び転出者数－尾道市〔平成 27 年〕

5 年前の 常住地	転入者数		現住地 (転出先)	転出者数		転入・転出超過数 (△は転出超過)	
	総数(人)	(順位)		総数(人)	(順位)	総数(人)	(順位)
合計	4,990	-	合計	5,954	-	△964	-
広島市から	1,033	(2)	広島市へ	1,328	(2)	△ 295	(21)
呉市	193	(5)	呉市	199	(5)	△ 6	(14)
竹原市	60	(10)	竹原市	46	(10)	14	(3)
三原市	705	(3)	三原市	735	(3)	△ 30	(19)
福山市	2,147	(1)	福山市	2,770	(1)	△ 623	(22)
府中市	179	(6)	府中市	175	(6)	4	(7)
三次市	77	(9)	三次市	67	(9)	10	(4)

庄原市	33	(11)	庄原市	37	(12)	△ 4	(12)
大竹市	7	(20)	大竹市	4	(21)	3	(10)
東広島市	232	(4)	東広島市	283	(4)	△ 51	(20)
廿日市市	81	(8)	廿日市市	80	(7)	1	(11)
安芸高田市	21	(12)	安芸高田市	15	(16)	6	(6)
江田島市	20	(14)	江田島市	2	(22)	18	(2)
府中町	21	(12)	府中町	39	(11)	△ 18	(18)
海田町	20	(14)	海田町	16	(15)	4	(7)
熊野町	8	(19)	熊野町	13	(17)	△ 5	(13)
坂町	10	(18)	坂町	6	(20)	4	(7)
安芸太田町	3	(22)	安芸太田町	12	(18)	△ 9	(15)
北広島町	12	(17)	北広島町	24	(13)	△ 12	(16)
大崎上島町	18	(16)	大崎上島町	8	(19)	10	(4)
世羅町	103	(7)	世羅町	74	(8)	29	(1)
神石高原町	7	(20)	神石高原町	21	(14)	△ 14	(17)

(2) 県別の転出入状況

尾道市から県外への転出超過は 15 道県、県外から尾道市への転入超過は 31 都府県
全体で見ると、県外から尾道市へは 232 人の転入超過

県別の転出入状況を見ると、現住地が尾道市で、5 年前の常住地が「他県」となっている転入者数は 5,060 人で、岡山県からの転入者数が 605 人で最も多く、次いで大阪府(509 人)、愛媛県(419 人)となっています。(図 3-2-1、表 3-2)

一方、5 年前の常住地が尾道市で、現住地が「他県」となっている転出者数は 4,828 人で、市町別では岡山県への転出が 770 人で最も多く、次いで大阪府(477 人)、愛媛県(438 人)となっています。(図 3-2-1、表 3-2)

転入・転出超過数を県別にみると、尾道市からの転出超過は、岡山県、愛知県、京都府など 15 道県、尾道市への転入超過は東京都、長崎県、神奈川県など 31 都府県となっています。このうち、九州地方の県からはすべて転入超過となっています。全体で見ると尾道市は県外への転出者数より県外からの転入者数の方が多く、転入超過数は、232 人となっています。(図 3-2-2、表 3-2)

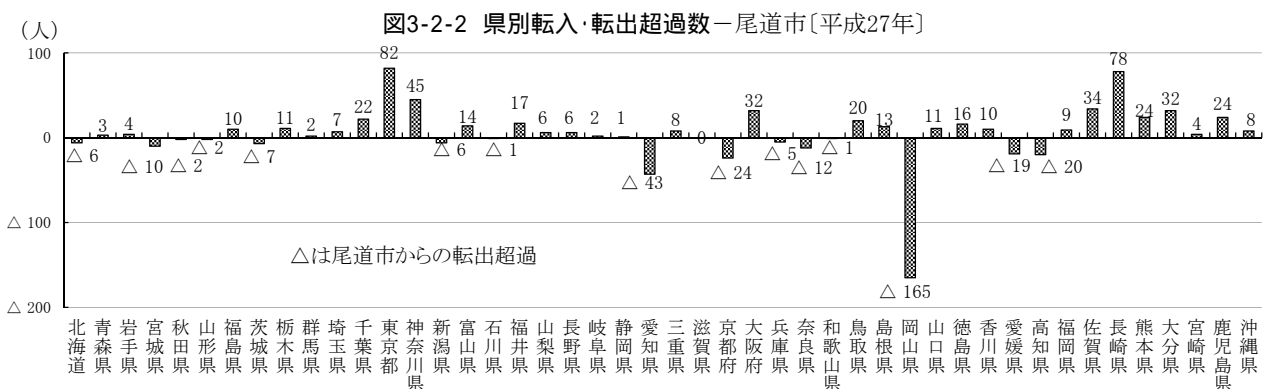
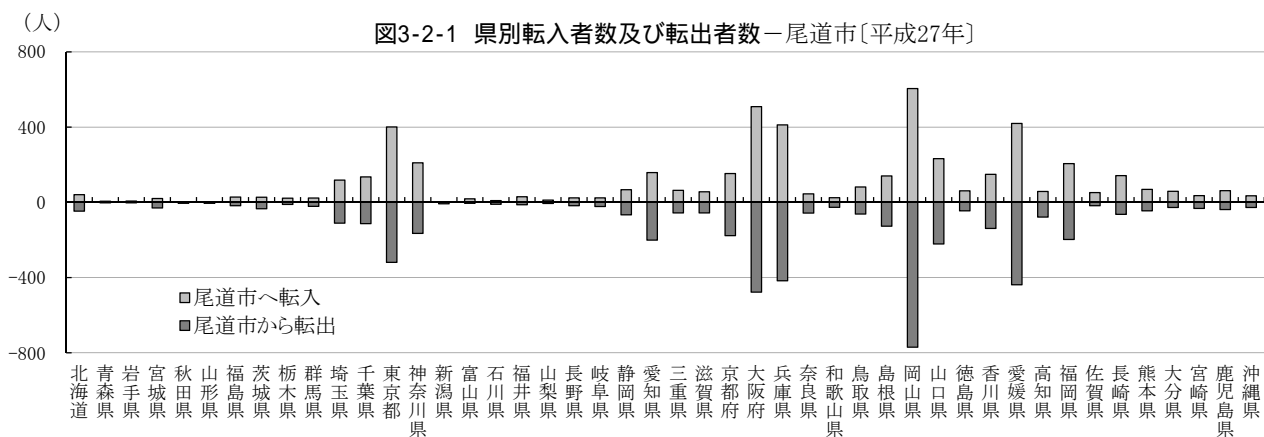


表3-2 県別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数－尾道市〔平成27年〕

5年前の 常住地	転入者数		現住地 (転出先)	転出者数		転入・転出超過数 (△は転出超過)	
	総数(人)	(順位)		総数(人)	(順位)	総数(人)	(順位)
合計	5,060	—	合計	4,828	—	232	—
北海道から	41	(27)	北海道へ	47	(22)	△ 6	(37)
青森県	6	(43)	青森県	3	(45)	3	(27)
岩手県	7	(42)	岩手県	3	(45)	4	(25)
宮城県	20	(38)	宮城県	30	(28)	△ 10	(40)
秋田県	3	(44)	秋田県	5	(42)	△ 2	(34)
山形県	3	(44)	山形県	5	(42)	△ 2	(34)
福島県	28	(31)	福島県	18	(34)	10	(17)
茨城県	27	(32)	茨城県	34	(26)	△ 7	(39)
栃木県	22	(37)	栃木県	11	(38)	11	(15)
群馬県	23	(36)	群馬県	21	(33)	2	(28)
埼玉県	118	(15)	埼玉県	111	(14)	7	(22)
千葉県	135	(14)	千葉県	113	(13)	22	(9)
東京都	401	(5)	東京都	319	(5)	82	(1)
神奈川県	210	(7)	神奈川県	165	(10)	45	(3)
新潟県	2	(46)	新潟県	8	(40)	△ 6	(37)
富山県	19	(39)	富山県	5	(42)	14	(13)
石川県	9	(41)	石川県	10	(39)	△ 1	(32)
福井県	30	(30)	福井県	13	(37)	17	(11)
山梨県	12	(40)	山梨県	6	(41)	6	(23)
長野県	24	(34)	長野県	18	(34)	6	(23)
岐阜県	24	(34)	岐阜県	22	(32)	2	(28)
静岡県	67	(18)	静岡県	66	(16)	1	(30)
愛知県	158	(9)	愛知県	201	(7)	△ 43	(45)
三重県	64	(19)	三重県	56	(20)	8	(20)
滋賀県	56	(24)	滋賀県	56	(20)	—	(31)
京都府	153	(10)	京都府	177	(9)	△ 24	(44)
大阪府	509	(2)	大阪府	477	(2)	32	(5)
兵庫県	412	(4)	兵庫県	417	(4)	△ 5	(36)
奈良県	45	(26)	奈良県	57	(19)	△ 12	(41)
和歌山県	25	(33)	和歌山県	26	(31)	△ 1	(32)
鳥取県	82	(16)	鳥取県	62	(18)	20	(10)
島根県	140	(13)	島根県	127	(12)	13	(14)
岡山県	605	(1)	岡山県	770	(1)	△ 165	(46)
山口県	232	(6)	山口県	221	(6)	11	(15)
徳島県	61	(21)	徳島県	45	(23)	16	(12)
香川県	149	(11)	香川県	139	(11)	10	(17)
愛媛県	419	(3)	愛媛県	438	(3)	△ 19	(42)
高知県	58	(23)	高知県	78	(15)	△ 20	(43)
福岡県	206	(8)	福岡県	197	(8)	9	(19)
佐賀県	52	(25)	佐賀県	18	(34)	34	(4)
長崎県	142	(12)	長崎県	64	(17)	78	(2)
熊本県	69	(17)	熊本県	45	(23)	24	(7)
大分県	59	(22)	大分県	27	(29)	32	(5)
宮崎県	36	(28)	宮崎県	32	(27)	4	(25)
鹿児島県	62	(20)	鹿児島県	38	(25)	24	(7)
沖縄県	35	(29)	沖縄県	27	(29)	8	(20)

(3) 備後圏域別の転出入状況

備後圏域では614人の転出超過
平成22年と比べて、福山市、三原市への転出超過数の増加が大きい

備後圏域での転入・転出超過数をみると、福山市へ623人、三原市へ30人の転出超過で、全体で見ると614人の転出超過となり、平成22年の転出超過数(163人)と比べて超過数が増加しています。(図3-3-1、図3-3-2、表3-3)

図3-3-1 備後圏域別転入者数及び転出者数
—尾道市〔平成27年〕

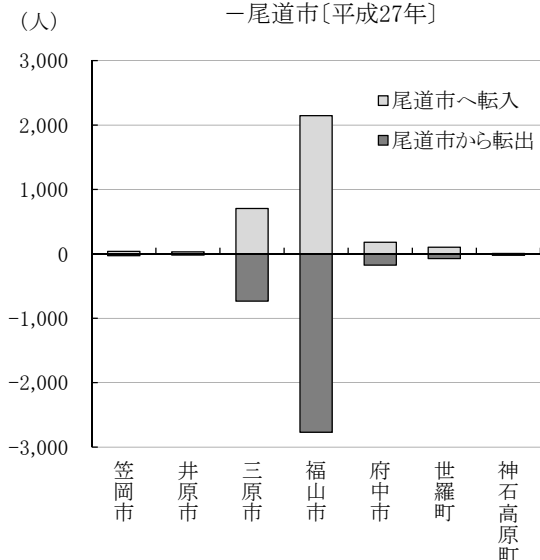


図3-3-2 備後圏域別転入・転出超過数
—尾道市〔平成22年、27年〕

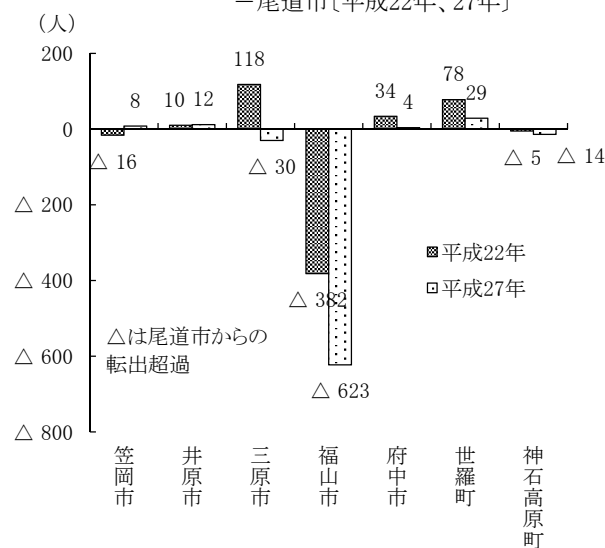


表3-3 備後圏域別転入者、転出者数及び転入・転出超過数—尾道市〔平成22年、27年〕

市町	平成22年			平成27年			平成22年～27年増減数	
	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入・転出超過数 (△は転出超過)	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入・転出超過数 (△は転出超過)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
備後圏域 合計	3,325	3,488	△163	3,210	3,824	△614	△115	336
笠岡市	32	48	△16	38	30	8	6	△18
井原市	31	21	10	31	19	12	-	△2
三原市	820	702	118	705	735	△30	△115	33
福山市	2,117	2,499	△382	2,147	2,770	△623	30	271
府中市	173	139	34	179	175	4	6	36
世羅町	139	61	78	103	74	29	△36	13
神石高原町	13	18	△5	7	21	△14	△6	3

(4) 3大都市圏()別の転出入状況

3大都市圏からは114人の転入超過
平成22年と比べると、東京圏へは転出超過から転入超過へ改善

転入・転出超過数を圏域別にみると、東京圏からは156人の転入超過、名古屋圏へは33人、大阪圏へは9人の転出超過で、3大都市圏からの転入超過の総数は114人となり、平成22年の109人より5人増加しています。名古屋圏及び大阪圏では、平成22年から平成27年にかけて転入超過から転出超過に転じましたが、東京圏へは、転出超過から転入超過に改善しました。(図3-4-1、図3-4-2、表3-4)

また、地方圏からは118人の転入超過となっていますが、平成22年(311人)と比べると、超過数は193人減少しています。

※東京圏〔東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県〕、名古屋圏〔愛知県、岐阜県、三重県〕、大阪圏〔大阪府、京都府、兵庫県、奈良県〕

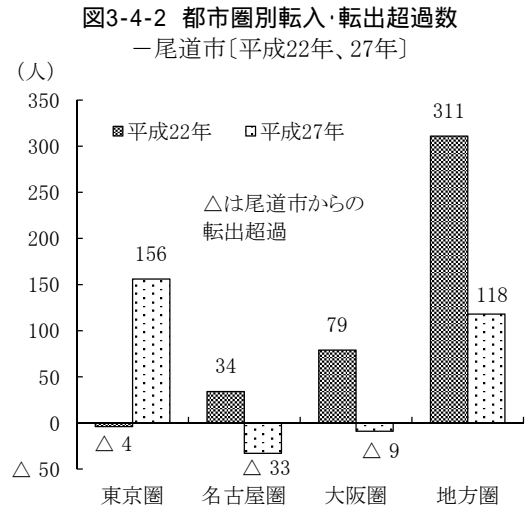
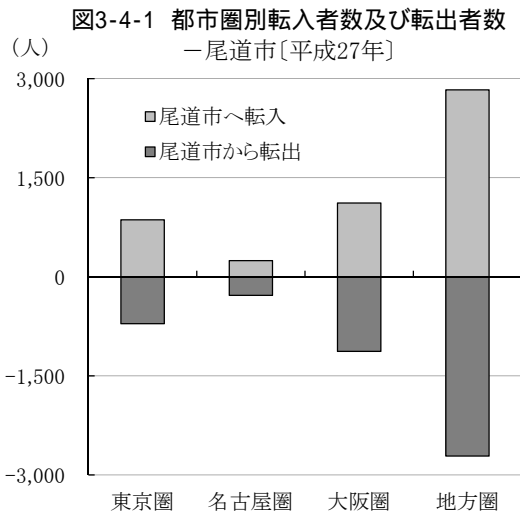


表 3-4 圏域別転入者、転出者数及び転入・転出超過数 - 尾道市〔平成 22 年、27 年〕

圏 域	平成 22 年			平成 27 年			平成 22 年～27 年増減数	
	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入・転出超過数 (△は転出超過)	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入・転出超過数 (△は転出超過)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
3大都市圏 合計	2,409	2,300	109	2,229	2,115	114	△180	△185
東京圏	780	784	△ 4	864	708	156	84	△76
名古屋圏	302	268	34	246	279	△ 33	△56	11
大阪圏	1,327	1,248	79	1,119	1,128	△ 9	△208	△120
地方圏	3,313	3,002	311	2,831	2,713	118	△482	△289

4 尾道市に係る男女、年齢(5歳階級)別転出入状況

(1) 県内・県外別移動状況

男性は、転入超過から転出超過に転ずる
女性は、転出超過数が増大

転入・転出超過数を男女別にみると、男性は 25 人の転出超過、女性は 707 人の転出超過となっています。男性は、平成 22 年と比べると 451 人の転入超過から 25 人の転出超過に転じています。県外への移動状況は 298 人の転入超過となっていますが、平成 22 年と比べると 223 人減少しています。県内の移動状況は 323 人の転出超過となっており、転出超過数は平成 22 年と比べて 253 人増加しています。女性は、平成 22 年と比べると 448 人の転出超過から 707 人の転出超過へと超過数が増大しています。女性の県外・県内の移動状況はともに転出超過となっており、平成 22 年と比べると、県内の転出超過数が 294 人増加しています。また、県外への転出超過数は 101 人から 66 人へと減少し、若干改善しています。(図 4-1、表 4-1)

転入者数は、男女ともに 30～34 歳が最も多く、転出者数は、男女ともに 20～24 歳が最も多い
女性は、20～29 歳で転出超過数が増加し、35～44 歳の階級は転出入状況が改善

転入者数及び転出者数を年齢(5歳階級)別にみると、転入者数は男女ともに 30～34 歳が最も多く、転出者数は男女ともに 20～24 歳が最も多くなっています。男女ともに、転出者数の最も多い階級は 20～24 歳で平成 22 年と変わっていませんが、転入者数の多い階級は平成 22 年では 25～29 歳でした。(図 4-1)

転入・転出超過数を年齢(5歳階級)別にみると、男性は、15～24 歳の階級のみで転出超過となっており、それ以外の階級ではすべて転入超過となっていますが、15～24 歳の階級の転出超過数が大きく、全体で見るとわずかに転出超過となっています。一方、女性は、15～29 歳、20～34 歳、45～54 歳及び 60 歳以上の階級で転出超過となっており、それ以外の階級が転入超過となっています。(表 4-1)

平成 22 年と比べると、男性は折れ線グラフの形はほぼ変わっていないのに対し、女性は 20～24 歳の階級で転出超過数が増大し、さらに 25～29 歳の階級で転入超過から転出超過へ転じています。一方で 35～39 歳の階級では、転入超過数が増加し、40～44 歳の階級では転出超過から転入超過に転じています。また、女性の 60 歳以上の階級では転出超過数が 356 人で、男性(転入超過数 41 人)に比べて大きくなっています。(図 4-1、表 4-1)

図 4-1 年齢(5 歳階級)、男女別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数—尾道市(平成 22 年、27 年)

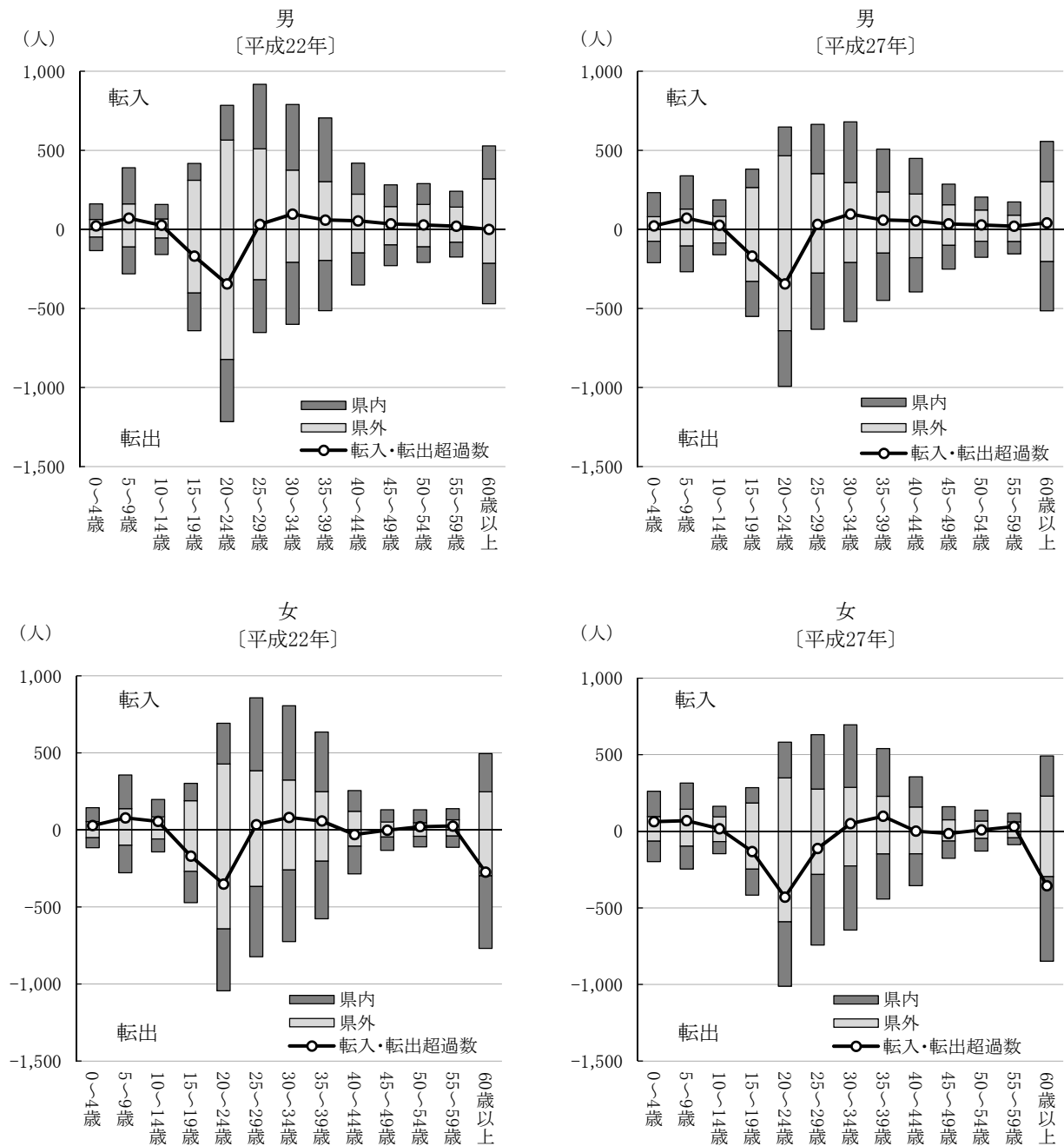


表 4-1 年齢(5 歳階級)、男女別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数—尾道市〔平成 22 年、27 年〕

男(人)		総数	0~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~44 歳	45~49 歳	50~54 歳	55~59 歳	60 歳以上	
平成 22 年	転入者数	県内	2,744	98	229	92	106	220	408	415	403	196	137	132	100	208
		県外から	3,340	63	161	66	311	565	510	375	302	223	145	158	141	320
	転出者数	県内	2,814	85	170	104	239	393	333	391	317	202	131	99	94	255
		県外へ	2,819	49	111	55	402	823	319	209	197	149	98	110	81	215
	転入・転出超過数 1)	県内	△ 70	13	59	△ 12	△ 133	△ 173	75	24	86	△ 6	6	33	6	△ 47
		県外	521	14	50	11	△ 91	△ 258	191	166	105	74	47	48	60	105
合計		451	27	109	△ 1	△ 224	△ 431	266	190	191	68	53	81	66	58	
平成 27 年	転入者数	県内	2,506	153	210	105	116	182	311	384	271	225	130	81	84	254
		県外から	2,807	80	129	82	265	466	353	296	237	224	156	123	90	302
	転出者数	県内	2,829	136	163	75	221	352	355	373	299	216	150	101	77	311
		県外へ	2,509	75	105	86	329	641	277	210	150	179	101	75	77	204
	転入・転出超過数 1)	県内	△ 323	17	47	30	△ 105	△ 170	△ 44	11	△ 28	9	△ 20	△ 20	7	△ 57
		県外	298	5	24	△ 4	△ 64	△ 175	76	86	87	45	55	48	13	98
合計		△ 25	22	71	26	△ 169	△ 345	32	97	59	54	35	28	20	41	
増減数 2)	転入者数	県内	△ 238	55	△ 19	13	10	△ 38	△ 97	△ 31	△ 132	29	△ 7	△ 51	△ 16	46
		県外から	△ 533	17	△ 32	16	△ 46	△ 99	△ 157	△ 79	△ 65	1	11	△ 35	△ 51	△ 18
	転出者数	県内	15	51	△ 7	△ 29	△ 18	△ 41	22	△ 18	△ 18	14	19	2	△ 17	56
		県外へ	△ 310	26	△ 6	31	△ 73	△ 182	△ 42	1	△ 47	30	3	△ 35	△ 4	△ 11

1) △は転出超過

2) 平成 22 年～平成 27 年

女(人)		総数	0~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~44 歳	45~49 歳	50~54 歳	55~59 歳	60 歳以上	
平成 22 年	転入者数	県内	2,758	90	218	113	113	264	473	482	387	134	80	84	72	248
		県外から	2,382	54	138	85	189	428	384	324	248	121	51	47	66	247
	転出者数	県内	3,105	65	179	84	203	401	456	465	374	179	87	68	73	471
		県外へ	2,483	51	99	59	269	643	367	260	203	106	46	42	40	298
	転入・転出超過数 1)	県内	△ 347	25	39	29	△ 90	△ 137	17	17	13	△ 45	△ 7	16	△ 1	△ 223
		県外	△ 101	3	39	26	△ 80	△ 215	17	64	45	15	5	5	26	△ 51
合計		△ 448	28	78	55	△ 170	△ 352	34	81	58	△ 30	△ 2	21	25	△ 274	
平成 27 年	転入者数	県内	2,484	165	171	69	100	233	355	408	311	197	86	71	56	262
		県外から	2,253	96	144	94	185	349	276	287	229	159	75	67	62	230
	転出者数	県内	3,125	133	149	79	170	421	461	419	294	208	112	83	44	552
		県外へ	2,319	65	97	67	247	591	282	226	148	147	64	46	43	296
	転入・転出超過数 1)	県内	△ 641	32	22	△ 10	△ 70	△ 188	△ 106	△ 11	17	△ 11	△ 26	△ 12	12	△ 290
		県外	△ 66	31	47	27	△ 62	△ 242	△ 6	61	81	12	11	21	19	△ 66
合計		△ 707	63	69	17	△ 132	△ 430	△ 112	50	98	1	△ 15	9	31	△ 356	
増減数 2)	転入者数	県内	△ 274	75	△ 47	△ 44	△ 13	△ 31	△ 118	△ 74	△ 76	63	6	△ 13	△ 16	14
		県外から	△ 129	42	6	9	△ 4	△ 79	△ 108	△ 37	△ 19	38	24	20	△ 4	△ 17
	転出者数	県内	20	68	△ 30	△ 5	△ 33	20	5	△ 46	△ 80	29	25	15	△ 29	81
		県外へ	△ 164	14	△ 2	8	△ 22	△ 52	△ 85	△ 34	△ 55	41	18	4	3	△ 2

1) △は転出超過

2) 平成 22 年～平成 27 年

(2)3 大都市圏移動

3 大都市圏からの転入者数は、男性は 25～29 歳、女性は 30～34 歳の階級で最も多い
 3 大都市圏への転出者数は、男女ともに 20～24 歳の階級で最も多い

地方圏を含む圏域別にみると、転入者数及び転出者数が最も多い階級は男女ともに 20～24 歳で、3 大都市圏からの転入者数は、男性は 25～29 歳、女性は 30～34 歳の階級で最も多くなっています。3 大都市圏への転出者数は、男女ともに 20～24 歳の階級で最も多くなっています。地方圏では、転入者数及び転出者数が、男女ともに 20～24 歳の階級で最も多くなっています。(図 4-2-1、表 4-2)

東京圏からの転入者数をみると、男性は124人、女性は32人の転入超過となっています。更に年齢階級別にみると、男性は0～4歳、15～24歳では転出超過となっていますが、それ以外の階級では転入超過となっています。また、60歳以上の階級では60人の転入超過となっています。女性は15～29歳では転出超過となっており、それ以外の階級では転入超過となっています。(図4-2-2、表4-2)

大阪圏では、男性は78人の転入超過となっているのに対し、女性は87人の転出超過となっています。年齢階級別にみると、男性は10～24歳では転出超過となっており、それ以外の階級では転入超過となっています。女性は15～24歳、45～49歳、60歳以上では転出超過となっており、それ以外の階級では転入超過となっています。また60歳以上の階級で56人の転出超過となっています。男女ともに、20～24歳階級の大阪圏への転出超過数が最も大きくなっています。(図4-2-2、表4-2)

図4-2-1 年齢(5歳階級)、男女別、圏域別転入者数及び転出者数—尾道市[平成27年]

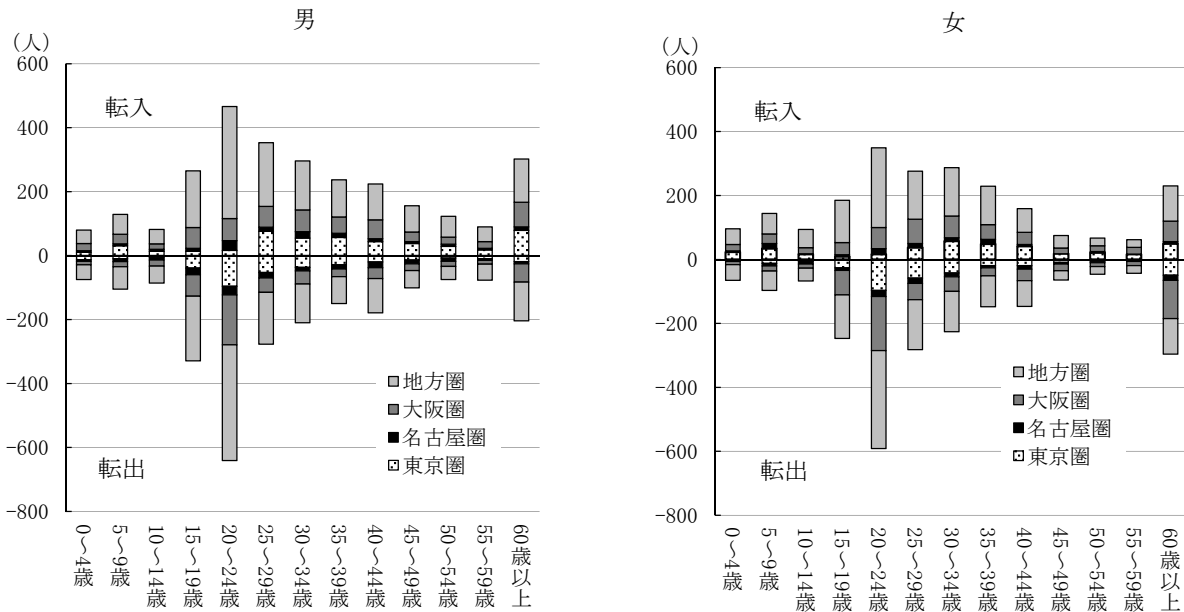


図4-2-2 年齢(5歳階級)、男女別、圏域別転入・転出超過数—尾道市[平成27年]

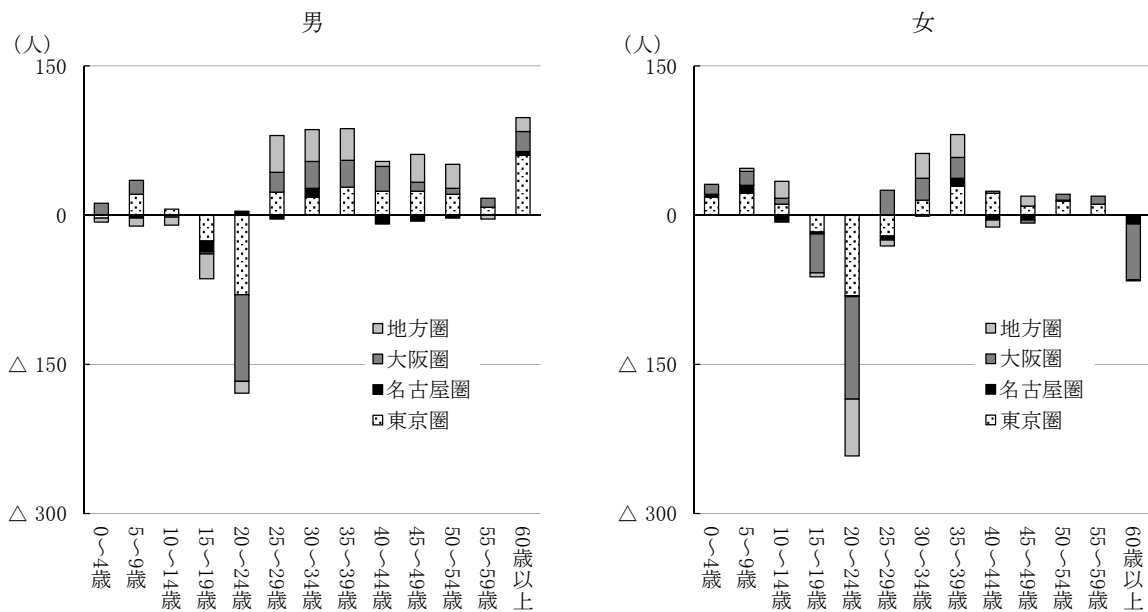


表 4-2 年齢(5歳階級)、男女別、圏域別転入者数、転出者数及び転入・転出超過数—尾道市〔平成 27 年〕

【男】

年齢	転入者数(人)				転出者数(人)				転出入超過数(人) (△は転出超過)				
	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏	総数	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏
総数	479	143	597	1,588	355	162	519	1,473	298	124	△ 19	78	115
0～4歳	10	5	23	42	13	5	11	46	5	△ 3	-	12	△ 4
5～9歳	31	6	30	62	10	9	16	70	24	21	△ 3	14	△ 8
10～14歳	13	7	17	45	7	7	19	53	△ 4	6	-	△ 2	△ 8
15～19歳	13	10	65	177	39	21	67	202	△ 64	△ 26	△ 11	△ 2	△ 25
20～24歳	16	31	69	350	96	27	156	362	△ 175	△ 80	4	△ 87	△ 12
25～29歳	76	13	65	199	53	17	45	162	76	23	△ 4	20	37
30～34歳	55	20	68	153	37	11	41	121	86	18	9	27	32
35～39歳	57	13	51	116	29	13	24	84	87	28	-	27	32
40～44歳	44	9	59	112	20	18	34	107	45	24	△ 9	25	5
45～49歳	38	6	30	82	14	12	21	54	55	24	△ 6	9	28
50～54歳	29	7	22	65	8	10	16	41	48	21	△ 3	6	24
55～59歳	18	5	21	46	10	5	12	50	13	8	-	9	△ 4
60歳以上	79	11	77	135	19	7	57	121	98	60	4	20	14

【女】

年齢	転入者数(人)				転出者数(人)				転出入超過数(人) (△は転出超過)				
	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏	総数	東京圏	名古屋圏	大阪圏	地方圏
総数	385	103	522	1,243	353	117	609	1,240	△ 66	32	△ 14	△ 87	3
0～4歳	23	4	20	49	5	1	10	49	31	18	3	10	-
5～9歳	34	16	30	64	12	8	16	61	47	22	8	14	3
10～14歳	16	2	19	57	5	9	13	40	27	11	△ 7	6	17
15～19歳	9	6	38	132	26	8	77	136	△ 62	△ 17	△ 2	△ 39	△ 4
20～24歳	16	18	66	249	97	19	169	306	△ 242	△ 81	△ 1	△ 103	△ 57
25～29歳	37	13	76	150	58	17	51	156	△ 6	△ 21	△ 4	25	△ 6
30～34歳	57	11	68	151	42	12	46	126	61	15	△ 1	22	25
35～39歳	48	15	46	120	19	7	25	97	81	29	8	21	23
40～44歳	41	6	38	74	19	11	36	81	12	22	△ 5	2	△ 7
45～49歳	18	-	18	39	9	5	21	29	11	9	△ 5	△ 3	10
50～54歳	21	4	18	24	7	3	12	24	21	14	1	6	-
55～59歳	16	1	21	24	5	1	13	24	19	11	-	8	-
60歳以上	49	7	64	110	49	16	120	111	△ 66	-	△ 9	△ 56	△ 1